

議会 だより



こがし
古河市

第 **75** 号

令和5年5月1日

編集／議会だより編集委員会

発行／古河市議会

ホームページ

古河市議会

検索



春の日差しにご満悦（サンワ設計ネーブルパーク ポニー牧場 ゆきのちゃん）

令和5年 第1回定例会開催

第1回定例会は2月22日から3月10日までの17日間で開かれ、諮問2件、認定1件、報告1件、議案48件について審議しました。3月2日、3日の2日間にわたり、一般会計予算特別委員会において一般会計、3月6日の特別会計・企業会計予算特別委員会において、8特別会計、水道事業会計および下水道事業会計の予算を審査しました。各会派の代表者による代表質問は3月7日、8日にわたり行われました。一般質問は3月8日、9日の2日間行われ、9名の議員が登壇しました。また、最終日に議案1件、議員提出議案1件が追加されました。請願4件については、4ページの請願一覧表のとおりとなりました。

令和5年第1回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	5.2.22	同意
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	5.2.22	同意
認定第1号	令和4年度古河市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	5.2.22	承認
議案第1号	令和5年度古河市一般会計予算	5.3.10	原案可決
議案第2号	令和5年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	5.3.10	原案可決
議案第3号	令和5年度古河市古河福祉の森診療所特別会計予算	5.3.10	原案可決
議案第4号	令和5年度古河市後期高齢者医療特別会計予算	5.3.10	原案可決
議案第5号	令和5年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	5.3.10	原案可決
議案第6号	令和5年度古河市農業集落排水事業特別会計予算	5.3.10	原案可決
議案第7号	令和5年度古河市ゴルフ場事業特別会計予算	5.3.10	原案可決
議案第8号	令和5年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計予算	5.3.10	原案可決
議案第9号	令和5年度古河市公共用地先行取得特別会計予算	5.3.10	原案可決
議案第10号	令和5年度古河市水道事業会計予算	5.3.10	原案可決
議案第11号	令和5年度古河市下水道事業会計予算	5.3.10	原案可決
議案第12号	古河市事務分掌条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第13号	(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会設置条例の制定について	5.3.10	原案可決
議案第14号	古河市個人情報保護条例の全部改正について	5.3.10	原案可決
議案第15号	古河市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第16号	古河市職員定数条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第17号	古河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第18号	古河市議会議員報酬等条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第19号	古河市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第20号	古河市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第21号	古河市職員の給与に関する条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第22号	古河市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第23号	古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計条例等の廃止について	5.3.10	原案可決
議案第24号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第25号	古河市合併特例振興基金条例の廃止について	5.3.10	原案可決

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第26号	古河市医療費助成に関する条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第27号	古河市保育所設置条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第28号	古河市子ども・子育て会議条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第29号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第30号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第31号	古河市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第32号	古河市国民健康保険条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第33号	古河市介護保険条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第34号	古河市ネーブルパーク条例の一部改正について	5.3.10	原案可決
議案第35号	財産の取得について	5.3.10	原案可決
議案第36号	財産の取得について	5.3.10	原案可決
議案第37号	財産の取得について	5.3.10	原案可決
議案第38号	令和4年度古河市一般会計補正予算(第8号)	5.3.10	原案可決
議案第39号	令和4年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	5.3.10	原案可決
議案第40号	令和4年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)	5.3.10	原案可決
議案第41号	令和4年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第3号)	5.3.10	原案可決
議案第42号	令和4年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	5.3.10	原案可決
議案第43号	令和4年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	5.3.10	原案可決
議案第44号	令和4年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	5.3.10	原案可決
議案第45号	令和4年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	5.3.10	原案可決
議案第46号	令和4年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計補正予算(第1号)	5.3.10	原案可決
議案第47号	令和4年度古河市水道事業会計補正予算(第3号)	5.3.10	原案可決
議案第48号	令和4年度古河市下水道事業会計補正予算(第3号)	5.3.10	原案可決
議案第49号	古河市副市長の選任につき同意を求めることについて	5.3.10	同意
議員提出 議案第1号	古河市議会の個人情報保護に関する条例の制定について	5.3.10	原案可決
動議1	長浜音一議員が本会議中に勝手に自席を離れ黒川輝男議員に暴力をふるったことに対し、懲罰を求める動議	5.3.7	陳謝
動議2	本会議において陳謝を拒否した長浜音一議員に対し、懲罰を求める動議	5.3.7	今定例会 の出席停止 (3日間)

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和4年 請願第7号	古河市老人福祉センター（古河・総和）及び、福祉バスの存続を求める請願	文教厚生常任委員会	趣旨採択
令和5年 請願第1号	通学路の安全対策を求める請願書	産業建設常任委員会	採 択
令和5年 請願第2号	古河及び総和老人福祉センターの統合による施設の存続を求める請願	文教厚生常任委員会	採 択
令和5年 請願第3号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願	総務常任委員会	継続審査

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市 公明党					真政会				市民ベースの会					無党派			
	渡邊 澄夫	佐藤 泉	大島 信夫	鈴木 務	小森谷 博之	赤坂 育男	鈴木 隆	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久 美子	渡辺 松男	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	稲葉 貴大	落合 康之	増田 悟	倉持 健一	阿久津 佳子	長浜 音一	生沼 繁	小山 高正	古川 一美
議案第1号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第2号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第4号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第5号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第6号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第7号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第8号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第10号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第11号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第13号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第14号			○			—			○			○						○			○	○	×
議案第27号			○			—			○			○						○			○	○	×
議員提出 議案第1号			○			—			○			○						○			○	○	×
動議1	○	欠	○	×	—				○			○					×		退	欠	○	○	×
動議2	○	欠	○	×	—				○			○					×		退	欠	○	○	×
令和5年 請願第3号			○			—			○			○			○	×		○	×	○	○	○	×

※議長は表決に加わらないため「—」と表示。※欠席議員は「欠」と表示。

※退席議員は「退」と表示。

予算特別委員会



一般会計予算特別委員会



特別会計・企業会計予算特別委員会

令和5年度 一般会計、特別会計予算は 810億2,600万円に

令和5年度一般会計、8特別会計、水道事業会計および下水道事業会計予算を慎重に審査するため、正副議長を除く全議員が一般会計予算特別委員会、特別会計・企業会計予算特別委員会に分かれ、3月2日、3日、6日の3日間にわたり、各会計予算の審査を行いました。

各会計予算額

会計別		令和5年度
一般会計		51,900,000
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	14,149,000
	国民健康保険（直診勘定）	0
	古河福祉の森診療所	142,500
	後期高齢者医療	1,837,100
	介護保険（保険事業勘定）	11,302,200
	農業集落排水事業	651,000
	ゴルフ場事業	91,000
	古河駅東部土地区画整理事業	945,000
	公共用地先行取得	8,300
	仁連地区新産業用地開発事業	0
合計		81,026,100

水道事業会計予算額

	令和5年度
収益的収入	2,700,013
収益的支出	2,658,576
資本的収入	835,125
資本的支出	1,923,467

下水道事業会計予算額

	令和5年度
収益的収入	3,449,403
収益的支出	3,443,888
資本的収入	1,911,893
資本的支出	2,876,102

※単位は全て千円

長浜音一議員に対する懲罰動議が提出されました

定例会中の3月7日、長浜音一議員に対する2件の懲罰動議が園部増治議員ほか9名より提出され、所定の賛成者があり成立しました。それぞれを懲罰特別委員会にて審査し、その後、本会議で可決されました。

動議1 『長浜音一議員が本会議中に勝手に自席を離れ黒川輝男議員に暴力をふるったことに対し、懲罰を求める動議』

審議結果 可決【陳謝】

動議2 『本会議において陳謝を拒否した長浜音一議員に対し、懲罰を求める動議』

審議結果 可決【今定例会への出席停止（3日間）】

令和5年度予算に対する各会派の意見

政友会

令和5年度一般会計予算額は、合併以降最大となる519億円となり、景気回復への強い願いが感じられる。事業に関しては、「地域活性化の推進」「GXおよびDXへの投資」「包摂社会の実現」に重点を置く予算となっており評価できる。当会派では、古河市サッカー場を含めたスポーツ施設の充実を特にお願する。

渡邊 澄夫 佐藤 泉 大島 信夫
鈴木 務 小森谷博之 赤坂 育男
鈴木 隆

古河市公明党

市民生活の安心安全と中長期的な未来の都市づくりを見据えたバランスのとれた予算編成である。当会派の要望施策である①デマンドタクシーの市内全域運行②RPAを活用した業務の効率化③LED照明の拡充④重層的支援体制および伴走型支援体制の整備拡充等が盛り込まれ、市民サービスの向上に寄与しており予算に賛成する。

高橋 秀彰 佐藤 稔
鶴見久美子 渡辺 松男

真政会

いまだ、コロナ禍にあるものの市税および地方交付税等の増収が見込まれ、地方債残高を大きく減らせる予算となっている。歳出では、新駅設置や筑西幹線道路の整備・延伸、(仮称)新公会堂の計画策定、高等教育機関誘致の検討、未来産業用地開発事業など、先導的プロジェクトへの意気込みが感じられる予算で賛成する。

黒川 輝男 園部 増治
青木 和夫 稲葉 貴大

市民ベースの会

歳入は、法人市民税の回復見込みから、市民の期待を裏切らないコロナ後の政策立案が課題となる。歳出は、地域活性化推進、GX・DX投資、包摂社会実現、さらなる行政サービスの充実やゼロベースの(仮称)新公会堂整備は複合施設も視野に、市民の意見や要望を最大限に取り入れた基本構想・計画策定を望む。

落合 康之 増田 悟
倉持 健一 阿久津佳子
長浜 音一 生沼 繁

会派に属さない議員

令和5年度予算は、過去最大級の予算編成でアフターコロナ対策に関して、各分野に適正に配分されていると考えるが、今後の補正予算で、物価高対策費のさらなる拡充を望む。

小山 高正

市民ニーズを反映させる新規事業、事業拡充は評価できる。老人福祉センター運営ビジョンは、ハードからソフトへのシフトについて丁寧に市民に説明し、理解を得る努力を求める。

古川 一美

デマンド交通「愛・あい号」の市内全域運行、空き家リフォーム補助、公立保育所の長寿命化等は評価するが、県事業の筑西幹線道路や未来産業用地など開発優先の新年度予算に反対。

秋庭 繁

代表質問

質問と答弁の概要をお知らせします



政友会



(質問者：渡邊 澄夫 議員)

「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」の実現に向けて

問 発展的で持続可能な目標設定や古河市の成長戦略について、施政方針の重点施策の中から地域活性化の推進に関連する取り組みへの道筋や課題、問題点などについて伺う。

答 (市長) 地域活性化の推進については、官民連携による新た

なテレワーク施設の支援、西口エリア魅力創出、住友商事株式会社との連携協定等がある。都市間競争が激しくなる中で、官民連携により、課題解消や新たな機能の導入の可能性も含めて、今後も検討を進め、市の魅力を発信しながら地域創生を推進していきたい。

「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」に向けて

問 スポーツのまちづくりとしてサッカー場を含めたスポーツ施設、および(仮称)新公会堂の整備、大きく2点について伺う。

答 (市長) サッカー場を含めたスポーツ施設の整備は、安心安

全を最優先に、緊急性のある施設から対応している現状がある。今後は財源確保を含め全体的な計画を立て具体的なスケジュールを示していきたい。(仮称)新公会堂は、基本構想、計画の策定に当たっては、市民に求められている役割や機能を整理して、計画に反映していく。市民の皆さまと一緒に親しまれる施設になるようスピード感を持って取り組んでいきたい。



市民ベースの会



(質問者：倉持 健一 議員)

健康福祉「互いに支え合う古河(まち)をつくる」

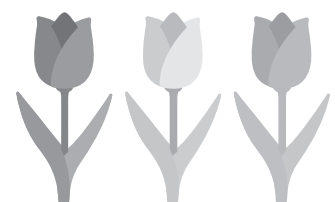
問 ①地域の子どもの困り事をつなぐネットワーク形成において、官民連携はもとより、「人・物・金・場所」が必要である。人的支援、助成金や公共施設の提供について伺う。②子どもの貧困、ヤングケアラー問題の解決や包摂社会の実現をどのように目指すのか所見を伺う。

答 (市長) ①市の支援は、公共性や公平性、効果性の観点から、民間団体の取り組みや内容を双方による協議の上で、総合的に判断していきたい。②支援者が積極的に現場に出向いて丁寧にアセスメントすることが重要である。地域全体で子どもたちを支援できる包摂社会の実現を目指す。

教育文化「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」

問 ①インクルーシブ教育の実践、特別な配慮を要する児童生徒(医療的ケア児・者を含む)の就学前・後の相談受け入れ体制(要綱やガイドライン作成等)や、②特別支援学校との連携はどのように行うのか伺う。

答 (教育長) ①就学相談は随時実施し、学校の学習環境を把握した上で保護者と合意形成を図り、適切な就学に向け助言を行っている。インクルーシブ教育の理念に基づいた合理的配慮や個に応じた適切な学習環境を整えられるよう、医療的ケアに関する要綱やガイドラインの作成を進めている。②随時情報共有をしており、特別な配慮を要する児童生徒に対し、教育委員会としてしっかりと取り組んでいく。



《その他の質問》

・3つの重点施策ほか



真政会



(質問者：黒川 輝男 議員)

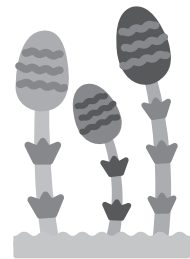
「地域未来投資促進法」活用による古河市づくりについて

問 これからの古河市を大きく進めていく地域未来投資促進法をフルに活用し、確かな財源の下に、市民へさまざまなサービスを提供しなければならない。①給食費無償化に対する市長の考え方について②市には食品企業がたくさんあるが、観光の目玉にもなる食のテーマパークについて③市内焼却場の老朽化に伴う古河地区のごみ焼却の解決

について④古河駅前（西口）の再開発について、マンションや市役所の出先機関、スーパーや商業施設の誘致等を取り込んで進めていかなければならないと考えるが、市長の見解について。以上を伺う。

答（市長） 地域未来投資促進法は地域の特性を活用した事業を行い、地域経済を引き上げ、企業を支援する制度である。今後同法を活用し、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいきたい。①給食費無償化については、財源の問題だけでなく、支援が必要な対象者や、一時的または継続的な対応が必要なのか等、検討すべき課題が多々ある。学校給食審議会等、さまざまな機会を生かし、検討していき

たい。②市の新たなにぎわいを創出するものとして期待できる。官民連携を視野に、新たな産業交流施設の創出に取り組んでいきたい。③古河地区のさしま環境管理事務組合への編入に向けた事務協議を進めている。④古河駅前ならでは土地の高度利用を図った再開発は、定住人口の増加や駅周辺の整備にもつながり、有効な手段である。あらゆる可能性を探りながら、駅前ににぎわい創出に向けて取り組んでいきたい。



古河市公明党



(質問者：高橋 秀彰 議員)

包摂社会の実現について

問 家事や家族の介護などを日常的に行い、負担を強いられているヤングケアラーや、生活に困窮している世帯の子どもなど、支援を必要としている子どもに対し、どのような支援体制で臨んでいくのか伺う。

答（市長） 令和5年度から教員や福祉専門職への研修、コーディネーターの配置、官民協働

による支援のネットワーク形成の3つの取り組みを実施する。

保育ICTシステム導入について

問 事務負担を軽減し、保育の質の向上を図る保育ICTシステムの内容および保育所のインターネット環境の整備等について伺う。

答（市長） 現在の業務をシステム化し、業務の効率化と保護者の利便性の向上を図りたい。上辺見保育所で導入効果を検証し、他の公立保育所でも国の補助を活用し導入を推進していく。

妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する伴走型支援体制等について

問 妊娠から出産、子育てまでを切れ目なく支援する伴走型支援体制について、支援体制の現状および新たな支援体制等について伺う。

答（市長） 伴走型相談支援は、届出後の面談を必須とし、専門職がより身近できめ細やかな対応をしている。令和5年度は電子母子手帳の導入を計画し、支援を効果的に実施していきたい。

《その他の質問》

- ・市民協働「地域 みんなで古河（まち）をつくる」
- ・教育文化「人が育ち文化の息づく古河（まち）をつくる」



第1回
定例会

一般質問

第1回定例会の一般質問は、3月8日、9日の2日間行われ、9名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



轟見 久美子 議員



物価高騰軽減対策について

問 新型コロナウイルス感染症や世界情勢悪化などの影響により、電気・ガス・水道料金・食材・日用品など日常に欠かせない物が値上がりしている。地方創生臨時交付金による経済支援を行っているが、今後①プロパンガスの助成と②小規模農家の肥料購入費助成について、課題と所見について伺う。

答（企画政策部長） ①助成は検

討したが、ほぼ全世帯が対象となり、財源とする交付金や他事業との調整の結果、見送った。同交付金制度が継続した場合は再度検討したい。

答（産業部長） ②同様の交付金が交付された場合は、市全体の交付対象事業を考慮しながら国・県の助成制度を見極め、農業の経営安定を図れるような助成制度や、手続き等の簡素化についても検討していきたい。



市内農家の稲刈り

ICT教育について

問 ICTを活用したオンライン教育が広がる中、自治体にかかる修理費などが問題視されている。タブレット活用に伴う①年間の修理・故障の件数と修理費等補償の現状、②保険加入の現状と破損・紛失時の保護者負担額の上限設定について伺う。

答（教育部長） ①令和4年度は2月21日現在、合計108件である。補償は事故報告書の内容で判断し、ほとんどが過失のため公費で修繕している。②保険は修繕費用との比較を行い、現在は加入していない。保護者負担額の上限設定も各種費用を比較検討し、学習用端末の利用がより図られるよう努めたい。



佐藤 稔 議員



「高齢者等の買い物支援」について

問 高齢者の日常生活を支える「買い物支援」について、市民がどのような支援を必要としているか、早急な調査が必要と考えるが市の考えを伺う。

答（福祉部長） 現状把握のための調査等は、3年ごとに作成の高齢者福祉計画、介護保険事業計画の中で行っている。議員のご意見を参考に調査研究していく。

「合理的配慮の助成制度」について

問 2021年の法改正により民間事業者への合理的配慮が義務化された。事業者側が過重とならないように費用の支援が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（福祉部長） 県内において既に実施している市町村がある。今後、先進地の取り組み内容や、市内事業所の実態等を含め、調査研究していきたい。

「デフリンピック」への支援について

問 聴覚障害者のオリンピックが2025年に日本で開催される。啓発活動やホストタウンへの参加など、積極的な展開を提案するが、市の考えを伺う。

答（市長） 今後示されるガイドライン等の中で、ホストタウンとして市が担うべき役割などを十分に見極めた上で判断していきたい。

答（福祉部長） 障がいや障がい者への理解を深め、共に生きていく共生社会の実現に向けて関係機関と連携し、啓発活動を推進していきたい。



阿久津 佳子 議員



市民サービス向上について

問 医療・福祉事業の償還払いについて①県内外医療受診での「マル福・マル古」^(※) 制度は、県の制度上の課題や県内44市町村の福祉医療に関する足並みがそろわず、市の事務作業が簡素化できていない。県へ申し入れを行い、償還払い対象者の利便性を図ることができないか。

②今後の高齢者タクシー料金助成見直し（対象要件拡大）において、あらかじめ助成券を交付

する等の利便性のよい方策を制度設計できないか。所見を伺う。

答（福祉部長） ②助成については、現在制度設計しており、「愛・あい号」等の市内公共交通や、他自治体の事業も制度設計に取り入れられるかどうか調査・検討していく。

答（健康推進部長） ①県外でマル福制度の現物給付を実施するには、県において他県の医師会等との調整が必要になる。引き続き、県に対して医療福祉制度の拡充による窓口負担撤廃を要望していく。

賑わい創生について

問 市の玄関口である古河駅前・周辺の再開発整備事業は急

務であり、多くの市民が待ち望んでいる。所見を伺う。



JR宇都宮駅東口地区整備事業

答（市長） 立地条件の良さ、豊かな自然や歴史等、市の魅力とポテンシャルをPRしながら、にぎわい創出につながるよう官民連携を進めていきたい。

答（企画政策部長） 官民連携を視野に入れ、他市の先進事例も参考にし、高次都市機能の誘導や駅周辺を含めた魅力のあるまちづくりに取り組んでいく。

※マル福…医療福祉費支給制度、マル古…医療費助成支給制度



落合 康之 議員



通知表年2回発行について

問 新型コロナウイルスにより教育活動に制限がかかるということから通知表の年2回発行が決められた。

- ①決定の経緯を教えてください。
- ②古河市自治基本条例との整合性については。
- ③今後の方向性は。

答（教育長） ①令和3年度に校長連絡協議会で、新型コロナウ

イルス感染症や働き方改革の推進により教育活動に制限がかかったことから、見直しが検討された。令和4年4月、検討結果が定例教育委員会で同意され、市長に報告し保護者にお知らせした。②学校長の裁量により学校で作成されている通知表は、条例に規定されている対象事案には含まれていない。③今年度から始まった取り組みであり、効果や有効性を検証していくことが大事だと考えている。

（再質問） 決定の経緯について、令和3年度の校長連絡協議会の会長は現教育長であり、自分が提案して、その後、教育長となり自分で決定することは説得性のないお話である。

古河市の教育は3学期制を敷

いているが、中身は2学期制だったというだまし討ちはあまりいいものではない。

答（教育長） 通知表を2回にすることは、校長連絡協議会の総意で決定している。評価期間が長くなることで多面的な評価ができることや、十分な授業時間が確保できることで児童生徒と触れ合う時間が増えるメリットがある。通知表の回数は減るが保護者面談を充実させていく。しっかりと効果を検証していきたい。



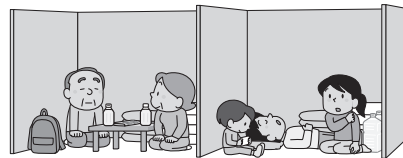
生沼 繁 議員



古河市の防災・減災について

問 ①市民の防災力の向上ではどのような指導や支援を行っているか。②関係部署、機関との連携では災害時および災害復旧支援の「災害協定」を関係機関と締結しているがこれで十分か。③避難所となるはなもも体育館は、おおむね1,300人の避難者の受け入れが可能な施設である。進入路は、避難者が行き来する通路であり、資機材を運搬する車両やその他の移動手段で相当

の混雑が予想される。陸上競技場の外周を拡幅し、一方通行にすると混雑が緩和されると思うが、この整備と周辺の道路冠水による情報発信は。④いつ災害が起きても市民の命を守るために、今後の防災施策をどのように考えているのか市長のご所見を問う。



答（市長） ④災害の特性に応じた自助、共助、公助の連携に努めていきたい。市民の命を守るためハード、ソフトの両面から防災施策を進め、災害時には的確な判断と市民への情報発信に

努めていく。

答（総務部長兼危機管理監）

①市民に対しては広報紙による周知、啓発を、自主防災組織に対しては出前講座を実施している。マイ・タイムライン作成を啓発し、水害時の逃げ遅れゼロを目指していく。②災害復旧時の対応は多岐にわたるため、市の対応だけでは目の届きにくい分野を精査し、現在のニーズに沿うような協定の締結を検討していく。③はなもも体育館の進入路拡幅は、現在計画中の総和地域交流センターの取り付け道路との調整を進めたい。

答（都市建設部長） ③避難所への誘導案内看板の設置を行うとともに誘導員の配置なども検討し、市民が安全で確実に避難できるよう取り組んでいきたい。



増田 悟 議員

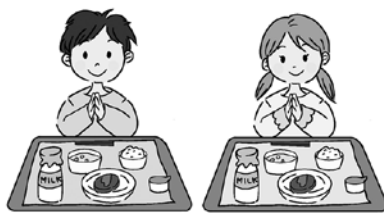


給食費の無償化について

問 食料品や燃料費等、数多くの物価高騰により市民は大変である。子育て世帯の負担軽減を目的に、小中学校の給食費の無償化が各地の自治体において進められている。古河市での給食費の無償化について考えを伺う。

答（教育部長） 物価高騰支援事業として給食費を値上げせずに食材費を増額している。負担軽減の検討はするが保護者の理解

を得ながら負担をお願いしたい。



市内道路の安全性は

問 小中高生の通学路、一般道の危険箇所について何度か質問をしたが、いまだに改善されていない。信号のない交差点、歩道のない道路、急カーブ、歩道白線の消えている所、90度クランク道路は請願書が出ていたと思うが、どんな対応か。

答（市民部長） 外側線や路面表示新設、復旧要望は60カ所で、

年度末までに完了予定である。

答（都市建設部長） 地域の道路拡幅要望により現地確認、優先順位を付して整備を進めている。

答（教育部長） 通学路安全推進会議で現状把握と対応を協議、児童生徒への指導実施や通学路の見直しなども検討している。

水道管の安全性について

問 古河地区、総和地区の石綿管布設替えは最優先ではないか。

答（上下水道部長） 国の交付金により石綿管更新事業として平成28年度から令和7年度完成に向けて重点的に進めている。

＜その他の質問＞

・一般選挙について



小山 高正 議員



市民生活について

問 市民ニーズとして、空き家解体後も固定資産税の減免を求める声がある。空き家解体後も住宅用地特例と同様の金額の奨励金を出す事業を提案する。

答（市民部長） 奨励金の導入は、空き家化の予防の面からも難しいと考えている。今後は解体費の補助と令和5年度に新設する空き家バンクのリフォーム補助で、空き家の除却と利活用の促

進を図り、空き家を増やさない方策へシフトしていく。

子育ての支援について

問 古河市子育て拠点施設西側に、神奈川県大和市にある「文化総合施設シリウス」のコンサートホール機能を除いた機能を導入し、古河市子育て拠点施設西側における施設導入基本計画で予定していた「子育てすくすくプラザ」構想の実現を求める。



答（福祉部長） 子育て拠点施設西側敷地の利活用事業は、具体的な構想にまで至っていない。

環境について

問 ①今後、森林の保護事業を行う予定はあるのか。②現在の森林の保護・保全の状況で、2050年CO₂排出実質ゼロ宣言は、達成できると考えているのか。

答（産業部長） ①現在、保護事業は行っていない。今後の予定はないが、平地林の保全と荒廃森林の抑制に努めていきたい。

答（市民部長） ②第2次古河市環境基本計画を指針とし、市民・事業者・行政が一体となり目標達成に向け努力していく考えである。



古川 一美 議員



被災者生活支援について

問 大規模な災害が発生した際、命を守ることが第一。次に被災者の生活支援が重要である。①効果的な避難所設置のため実地検証は行っているのか。②災害時には災害ボランティアの役割が大きい。災害ボランティアセンターがスムーズに運営できるよう市は社会福祉協議会と協定を締結する考えはあるか。

答（総務部長兼危機管理監）

①県が委嘱している避難所検証委員会が検証している。担当者が避難所開設訓練でレイアウトを考え、必要に応じてマニュアルを変更している。

答（福祉部長） ②市と社会福祉協議会との間で締結する方向で検討を進めている。



部活動改革について

問 ①令和5年度からの、部活動の地域移行に向けての進捗状

況は。②課題となっている指導者の確保はどうするのか。

答（教育部長） ①令和5年度は運動部で休日に指導を行う部活動指導員を中学校に1名ずつ配置する。②各種スポーツ団体の指導員候補者を調査している。

台湾との交流事業について

問 国際情勢を考えると、正式な国交がない日本と台湾にとって民間や自治体レベルの交流は重要と考える。市長の所見を伺う。

答（市長） 台湾以外の国も含め、民間レベルでの交流をきっかけに姉妹都市提携などの機運が高まれば、改めて判断したい。



秋庭 繁 議員



新型コロナウイルス感染から命を守る市の支援策について

問 第9派が懸念される中、高齢者施設等へPCR検査や抗原検査キット等の配布を考えているのか。

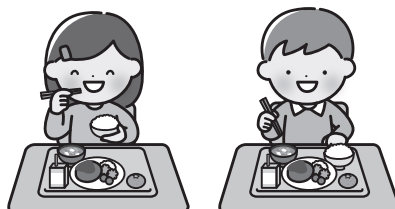
答（健康推進部長） 令和4年12月から令和5年1月にかけて、高齢者施設へ抗原検査キット約80万本を送付したが、その後、追加の要望はなかったと聞いている。現時点では十分な数が確保されていると考えられ、今後

は引き続き県と連携し、状況の変化に応じて対応するよう取り組んでいく。

学校給食の無償化および自校調理方式について

問 全国的に学校給食の無償化が進んでいる。市長は、学校給食審議会を開いてと言うが、2年間、開かれていない。市長の無償化の判断が先ではないか。

答（市長） 学校給食審議会は重要であり、審議会の意見を聞きながら丁寧に進めていきたい。



古河市審議会情報、会議結果の改善について

問 各審議会は市民生活に直結する。審議経過と結果がなく改善が必要ではないか。

答（総務部長） 市民への情報発信という点からも見直しを行い、審議会情報の充実に努めていく。

老人福祉センターについて

問 名誉町民塚田義一さんの多額の寄付で改築し、利用者が多いのに廃止する理由が分からない。

答（福祉部長） 寄付金は広く社会福祉活動全般に係る基金として管理していた。具体的な経緯は確認できない。

トルコ・シリア地震救援金

2月にトルコ・シリアで発生した地震により被災された方々を支援するため、令和5年2月22日に開催された議員会での決定により、救援金10万円をUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）に寄託しました。

心からのお悔やみとお見舞いを申し上げ、1日も早い被災地の復興をお祈りいたします。



トルコ



シリア

議会生放送もご覧ください

古河ケーブルテレビで、議会の生放送をしています。古河ケーブルテレビに加入している方は、ぜひ、リアルタイムでの議会の様子をご覧ください。

○生放送される範囲

- ・定例会初日の開会から市長報告（施政方針）まで
- ・一般質問（代表質問）

第1回定例会の傍聴者数

本会議	26人
委員会（特別委員会含む）	14人
合計	40人

※傍聴者数は延べ人数



令和5年2月27日撮影

議会の様子・会議録 を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録

○次回の定例会は**6月**に開催予定です。

※詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

議会だより編集委員会は、この号をもちまして任期満了となります。この4年間さまざまな変化がありました。経験したことのない新型コロナウイルス感染症により生活が一変し、市民の皆さまにはご不便をおかけしました。新体制でスタートする議会に期待していただくとともに、安心・安全な古河市発展のため努力してまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

副委員長 靄見 久美子

【議会だより編集委員会】

委員長 小森谷博之
副委員長 靄見久美子
委員 鈴木 務 稲葉 貴大
落合 康之 増田 悟

古河市議会事務局
古河市長谷町 38 番 18 号
☎ 0280-22-5111 (代)